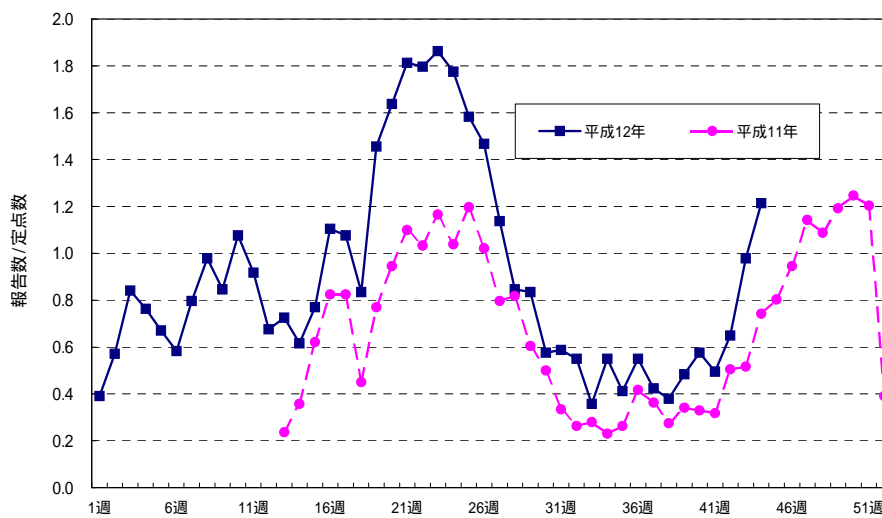


愛知県感染症情報

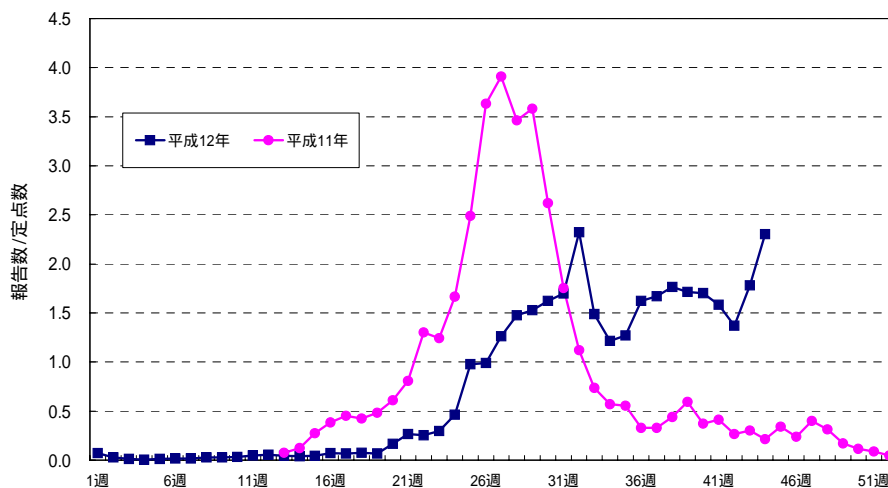
平成 12 年第 44 週 (11 月第 1 週)

(コメント)

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎感染症は流行中です。インフルエンザ、感染性胃腸炎及び水痘の増加が始まりました。手足口病は、例年 6 月～7 月 (22 週～31 週) にかけて流行しますが、今年はまだ報告数の増加が見られますので注意してください。



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (名古屋市を含む。平成11年は、13週(4月1日～)から)



手足口病 (名古屋市を含む。平成11年は、13週(4月1日～)から)

(先生方からのコメント)

- 尾張西部地区
- ・ 感染性胃腸炎流行の兆し

(一宮市 後藤小児科医院)

- ・ ムンプス 2 名 (1 歳男、 4 歳男)
A 群 溶連菌感染症 5 歳男
インフルエンザ迅速反応陽性者 2 名 (2 歳女、 6 歳男)
パラインフルエンザ 3 型 (HI) 6 歳男
(尾西市 城後小児科)
- ・ 成人 1 名インフルエンザ A (迅速試験にて)
手足口病の流行がまだ続いています
(一宮市 平谷小児科)
- ・ 流行性耳下腺炎、水痘つづいています。
急性胃腸炎もありますが、例年よりも非常に少ない。
(岩倉市 なかよしこどもクリニック)
- ・ 手足口病が増加しています。
(江南市 みやぐちこどもクリニック)
- ・ マイコプラズマ肺炎 2 名 (24 歳女、 4 歳男)
(新川町 三輪医院)
- 尾張東部地区
 - ・ まだ、手足口病がみられます。
(瀬戸市 津田こどもクリニック)
 - ・ 手足口病がまだ散発して認められます。
流行性耳下腺炎、突発性発疹症散発。
その他目立った流行はありませんでした。
(尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院)
 - ・ 今週もまだ手足口病がみられました。後半急性上気道炎が多くなりました。
(春日井市 かちがわ北病院)
 - ・ 手足口病による髄膜炎まだあり
(小牧市 小牧市民病院)
 - ・ 手足口病が多いようです。
(小牧市 鈴木小児科)
 - ・ 病原性大腸菌 0-1 VT1・VT2 (-) 1 歳 8 ヶ月男
(東海市 小児科ハヤカワ医院)
- 西三河地区
 - ・ 病原性大腸菌 VT (-) 2 名 (4 歳男、 1 歳男)
(岡崎市 医療法人深田小児科)
 - ・ カンピロバクターと病原性大腸菌感染症 0-1 2 歳男
(岡崎市 花田こどもクリニック)

- ・ サルモネラ O-4 4歳男
カンピロバクター 4歳女
(岡崎市 にいのみ小児科)
- ・ カンピロバクター 13歳女
(幸田町 とみた小児科)
- ・ 溶連菌感染症は2度目の感染です。
(西尾市 やすい小児科)
- 東三河地区
 - ・ カンピロバクター 4歳男
(豊橋市 こどもの国大谷小児科)

(1~3類感染症の発生状況)

腸管出血性大腸菌感染症患者1名。

- ・ 知多保健所から報告の6歳女。10/24発病、10/25初診、10/30診定。菌型は、O-26 VT1・VT2(+)。

(全数把握の4類感染症の発生状況)

破傷風患者1名。

42週(10月16日~10月22日)の4類感染症の全国状況

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、咽頭結膜熱の定点当たり報告数が例年に比べかなり多い。また、水痘、手足口病、麻疹、流行性耳下腺炎などの定点当たり報告数も例年より多くなっている。

流行性角結膜炎は茨城県と長崎県で定点当たり3.8、福岡県で3.7と多くなっている。

(Infectious Diseases Weekly Reportより抜粋)

厚生省感染症研究所感染症情報センター感染症情報)